

④0 徳山駅周辺整備事業 (徳山駅前賑わい交流施設・徳山駅北口駅前広場)

授賞機関 周南市

キーワード 景観への配慮、地域エネルギー、民間活力の導入

全建賞審査委員会の評価ポイント

景観に配慮した一体感のあるデザインによる賑わい交流施設と駅前の整備事業。複合施設の運営に民間活力を導入し、1年間で280回のイベントを開催するなど賑わい創出の取組みを実施し、周辺の商店街の新規出店数や歩行者通行量の増加にも寄与している点が評価された。

1. はじめに

徳山駅は、山口県内有数の拠点駅であり、高速バスや多くの路線バスが乗り入れ、港も隣接する公共交通結節点である。

本市は、この徳山駅周辺を核として中心市街地が形成されているが、郊外への大型店の進出や、消費者ニーズの多様化等により、商店街の空洞化が進行していた。そこで、駅前に市の玄関口としての賑わい、憩いの空間を創出するために、本事業を行ったものである。

構想時から9年間、14回にわたり徳山駅周辺デザイン会議を開催し、景観に配慮した一体感のあるデザインで、市民の要望の多い施設を計画した。

2. 事業の概要

徳山駅前賑わい交流施設は、徳山駅南北自由通路と直結し、カフェと書店を併設した市立図書館を中心とした複合施設である。建物内の様子が街からも見えるように、北口駅前広場側はガラス張りとし、併せて2階には大きなデッキを配置するなど、駅前広場と一体的な空間を形成している。

徳山駅北口駅前広場は、バスとタクシーの乗り場を再整備し、まちの憩いの空間、賑わい創出の場として、市民がそれぞれの思いで自由に使えるように、広い歩行者中心の空間を確保した。舗装材には自然石や煉瓦を使用し、経年変化が少なく、将来的に景観を維持できる素材を選定し、市の特産の石材である徳山みかげも使用している。

また、夜間も美しい空間となるよう、施設と広場の灯りが調和する照明デザインを行っており、灯りをともす電力は、地域エネルギーであるコンビナートの自家発電による電力を活用している。近接する周南コンビナートから繋がる送電設備を市で整備し、特定供給を受けており、通常よりも安価な電気料金で施設の運用を行う、本市独自の取り組みである。



賑わい交流施設・北口駅前広場

3. 事業の成果

徳山駅前賑わい交流施設と図書館の運営には、民間活力を導入し、カフェ、書店、イベント開催など、民間のノウハウを生かした事業を展開している。特にイベントについては、1年間で280回開催されるなど、来街者の増加、賑わい創出に大きく貢献している。

この場所を活用した、官民協働の様々な取り組みにより、駅前商店街の新規出店数や、歩行者等通行量が整備前後で大きく増加し、中心市街地の活性化につながっている。さらには、市民団体による清掃活動等の景観保全活動も広がっており、市民のまちへの誇りと愛着を深めるきっかけになっている。



地域エネルギーを活用した夜の景観

4. おわりに

魅力ある景観と、市民の求めていた居場所の整備により、様々な世代が駅周辺に集まるようになった。この場所で生まれる新しい出会いにより、まち全体が一層賑わい、発展していくよう今後も取り組んでいく。

賛助会員 パシフィックコンサルタンツ(株)